

# 医学部合格者 高校別ランキング

2018年 入試速報 第10期

## 「超難関」に現役で合格者を 送り出せる学校の底力とは

国公立大を中心に医学部の志望者が減少している。それでも難関には変わりなく、特に医学科の合格者数は進学校の実力を測る有効な指標の一つ。日本全国の医学部の合格実績からは、同じく最難関である東大・京大の合格者数ランキングだけでは分からない、進学校の姿も見えてくる。

### 国公立大 医学部医学科 合格者数ランキング

順位	学校(所在地)	卒業生数	合格者数
1	東海(愛知)	425	130
2	洛南(京都)	464	94
	灘(兵庫)	219	94
4	ラ・サール(鹿児島)	225	85
5	四天王寺(大阪)	506	61
6	愛光(愛媛)	235	60
7	東大寺学園(奈良)	210	58
8	久留米大付設(福岡)	195	55
	開成(東京)	398	54
9	西大和学園(奈良)	313	54
	札幌南(北海道)	319	50
11	智辯学園和歌山(和歌山)	252	50
	岡山白陵(岡山)	204	47
13	熊本(熊本)	404	47
15	甲陽学院(兵庫)	194	45
16	新潟(新潟)	364	44
17	滝(愛知)	383	43
18	青雲(長崎)	214	42
19	桜蔭(東京)	231	41
	昭和薬科大付(沖縄)	205	41
	大阪星光学院(大阪)	197	39
21	△広島大付福山(広島)	201	39
23	○渋谷教育学園幕張(千葉)	376	38
24	○白陵(兵庫)	186	37
25	○海城(東京)	320	36
	旭丘(愛知)	362	36
	○洛星(京都)	212	35
27	○広島学院(広島)	185	35
	○北嶺(北海道)	123	33
	○豊島岡女子学園(東京)	346	33
29	○聖光学院(神奈川)	231	33
	○南山(愛知)	409	33
	○土佐(高知)	293	33
	鶴丸(鹿児島)	307	33

合格者数は既卒含む  
校名の△印は国立、○印は私立、無印は公立

進学担当教諭に、高い医学部合格実績の要因を聞いてみた。「例年、高3生は8対2で文系より理系が圧倒的に多い。理系の半数以上が医学部志望です。医学部に特化したカリキュラムはありませんが、医学部志望者同士が

大学生の就職状況の好転などにより、医学部志願者の減少が続いている。特に、現行の教育課程になつて理科や数学の科目負担が増した国公立大の人氣が下がり、今春の医学部志願者は、私立大がほぼ前年並みなのに対し、国公立大は2000人近く減少した。それでも国公立大医学部が難関である

ことに変わりはない。代々木ゼミナール教育総合研究所の主任研究員、坂口幸世さんは言う。「1次試験にあたるセンター試験で950点満点中、850点以上。2次試験でも高得点が求められる国公立大の医学部は、学費が安く、受験生は全国の大学を視野に入れることもあり、地方大も難関です。

1次、2次試験ともに、スピーディーかつ的確に問題を処理できる高い能力が求められます。では、その難関の医学部に多数合格した学校はどこなのか。左の国公立大の「医学部医学科合格者数ランキング」を見ると、1位は11年連続の東海で、130人が合格し2位に大差をつけた。同校の